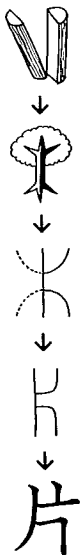


# 片

六年 四  
筆順 リ片片  
オン ヘン  
クン かた

成の立ち



「木」という字の右半分だけを表したものです。「木を切った、その「木」の切れ」を表した字です。「木の切れはし」のことです。

しかし、今は「木」に関係なく、「物の半分」「物の一部」という意味に使われます。【例】片手、片腕、片手間、破片、断片、紙片、片言。

また、「完全でない」という意味から、「未熟な」という意味にも使います。【例】片言。

使い方

▽ぼくは力が強くて、おねえさんが両手で持とうとしても持てない荷物を片手で持ち上げることができます。  
▽わたしは部屋をそうじしていて、ガラスの花びんを割ってしまいました。大事にしていた花びんなので、何とか元に戻らないかと、いくつかの破片をひろってみましたが、だめでした。

熟語例

- ▽片手（片方の手）
- ▽片腕（片方の腕。また、最も頼みにしている部下や仲間のことを言います。「片腕とも頼む部下に裏切られた」などというふうにも、つかいます。）
- ▽片手間（本業の合間。「これは片手間にできるような仕事ではない」などというふうにも、つかいます。）
- ▽破片（壊れたもののかげら）
- ▽断片（切れたし。きれぎれになったものの一部。「その本は今はいしなわれて、断片だけが残っている」などというふうにも、つかいます。）
- ▽紙片（紙切れ）
- ▽片言（ごくわずかの言葉）

# 補

六年 12  
筆順 シネネ 衞補補  
オン ホ  
クン おぎなリウ

成の立ち



田んぼ（田圃）に苗を植えることを表した「圃（圃の本字）」と、着物の形を表した「衞」とを組み合わせて作った字です。

「田んぼに手を加える」のではなく、「衣類に手を加える」ことを表した字です。

「衣類をつくろう」ことを表した字ですが、広く「物をつくろう（欠けた所をおぎなう）」という意味に使います。【例】補修、補足、補充、補正、補欠、補償。

「助ける」意味にも使います。【例】補助、補佐。

また、正式の職につく前の地位を表すのにも使います。

【例】警部補、検事補、候補。

使い方

▽ぼくは野球チームに入っています。まだ入ったばかりなのでレギュラーにはなれず、補欠です。でも、練習して必ず正選手になるつもりです。  
▽わたしは毎月おこづかいをもらっていますが、時々それでは足りなくなりました。それで補助のためにおかささんのお手伝いをします。一回手伝うたびに百円もらえるのです。

熟語例

- ▽補修（いたんだ部分をつくろうこと。「ペンキがはげた所を補修した」などというふうにも、つかいます。）
- ▽補足（足りない所を補うこと。）
- ▽補充（足りない所を補って充分にすること。）
- ▽補正（ぐあいの悪い所を補って正しくすること。）
- ▽補欠（欠けた所を補うこと。）
- ▽補償（損害などを償い補うこと。）
- ▽補助（不足を補い助けること。）
- ▽補佐（主となる人を助けること。また、そういう人）
- ▽警部補（警部より一つ下の階級）